

製品名: Dmc1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10034**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	DMC1
別名	DMC1; DMC1H; LIM15; Meiotic recombination protein DMC1/LIM15 homolog
遺伝子 ID	11144.0
SwissProt ID	Q14565
免疫原	抗血清はヒト DMC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

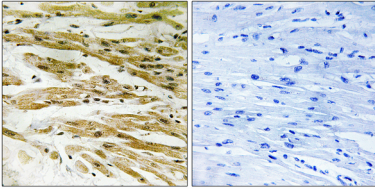
DNA 減数分裂リコンビナーゼ 1 (DMC1) ホモサピエンス この遺伝子は、リコンビナーゼ (DNA 鎖交換タンパク質とも呼ばれる) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。リコンビナーゼは、有糸分裂および減数分裂中の二本鎖 DNA 切断の修復に重要

です。進化的に保存されたこのタンパク質は、減数分裂相同組換えに必須であることが報告されており、遺伝情報の多様性を生み出す上で重要な役割を果たす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013年5月],機能: 減数分裂組換え、特に相同鎖同化に関与する可能性があり、これは減数分裂二本鎖切断の修復に必要です。、類似性: recA ファミリーに属します。 DMC1 サブファミリー。、類似性:1つの HhH ドメインを含む。、サブユニット:MND1-PSMC3IP ヘテロダイマーと相互作用する (類似性による)。二重に積み重ねられたリング状のホモオクタマー。、

研究分野

-

画像データ



DMC1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。